

開館カレンダー

休館日

2025年 11月						
日	月	火	水	木	金	土
						①
2	3	4	5	6	7	⑧
9	10	11	12	13	14	⑮
16	17	18	19	20	21	⑳
23	24	25	26	27	28	㉑
30						

※11月の「わ・わ・わぽっとでおはなし会」は12日のみ開催します

2025年 12月						
日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	⑥
7	8	9	10	11	12	⑬
14	15	16	17	18	19	⑳
㉑	22	23	24	25	26	㉒
28	29	30	31			

※12/28のわ・わ・わぽっとでおはなし会は年末休館のため12/21に実施します。

- **あんころもち**
対象:0～3才
日時:毎週 火曜日 14時～
会場:図書館 おはなしの部屋
- **土曜日のおはなし会**
対象:3才～
日時:毎週 土曜日 14時～
会場:図書館 おはなしの部屋
- ♡

わ・わ・わぽっとでおはなし会
対象:就学前児とその保護者
日時:毎月 第2水曜日 11時～
最終 日曜日 11時～
会場:子育て支援センター

学芸部だより No.22
耕地整理記念碑
(川内区)



昭和37年(1962)7月8日に発生した集中豪雨は、鹿島の各河川で大規模な氾濫を発生させ、各所に甚大な被害をもたらしました。石木津川が区内を貫流する川内区では、犠牲者を出し、家屋や田畑の流失など甚大な被害を受けています。

この災害の記憶を後世に伝えるため、川内土地改良組合が建てたのが川内公民館前にある「耕地整理記念碑」です。表には題字が書かれ、台座には昭和44年の碑文が刻まれています。

川内区に深刻な被害をもたらしたのは、石木津川の氾濫でした。七・八水害では、鹿島市は5名の死者・行方不明者を出していますが、3名の犠牲者が出たのが川内区でした。また、河川の氾濫により、水田が押し流され、耕地は深刻な被害を蒙りました。そのため、川内区の人々は協議を重ね、原状復旧ではなく、耕地整理による耕地の近代化に取り組みます。3年の歳月を経て、耕地整理が完成し、それを記念して、この石碑が建てられたのです。

司書のひとりごと…

猛暑が落ち着いてきた10月前半、わが家では蚊をはじめとした夏の虫が再び出てきました。外は鈴虫など秋の虫の音が聞こえているのに、家の中では蚊の羽音がし、物陰からはムカデやゲジゲジが這ってくる油断ならない夜を過ごしています。

それでも徐々に秋めいてきて、景色も食もイベントも楽しみなものがやってきます。

10/27(月)～11/9(日)までは読書週間です。2025年の標語は「こころと、あたまの深呼吸。」ぜひ図書館で読書の秋を満喫してください！(SA)



鹿島市民図書館だより
みんと



- 「本をゆずる市」を行います
- 館長コラム
- 特別整理期間のご報告
- イベント報告(9月)
- 防犯訓練を行いました
- 学芸部だより No.22

2025年 11月 287号

本をゆずる市

図書館で読まれなくなった本と、市民のみなさんから寄贈された本を無料配布します。

11月1日(土)
～16日(日)

※休館日を除く

火～金 9時30分～19時
土日祝 9時30分～17時

場所 図書館 レファレンスカウンター前

11月1日(土)のみ、1人30冊まで

2日(日)から冊数制限なし
※なくなり次第終了

持ち帰り用の袋をご持参ください

…館長コラム「 図書館カード 」…

来年、エイブルは開館25周年を迎えます。

鹿島市民図書館はエイブルが開館するにあたって、旧福祉会館から移転をし、名称も“鹿島市立図書館”から“鹿島市民図書館”に改称して現在に至ります。

その時、図書館カードもリニューアルされました。版画で表現された鹿島市の花・サクラに、明るい黄色の背景。財布に何枚もカードを入れていたとしても、パツと探し出せる色彩構成。この図書館カードをデザインしてくださったのは、重富峻氏です。

四半世紀の間、このデザインの図書館カードは、利用者と図書館を繋ぐ懸け橋になり続けてきました。もし、まだ図書館カードを作ったことのない方は、是非お作りください※。無料です。

そして、季節は秋。第79回目の“秋の読書週間(10月27日～11月9日)”が始まります。その歴史は、終戦もない1947年、まだ戦火の傷痕が至るところに残っているなかで「読書の力によって、平和な文化国家を作ろう」という決意のもと、出版社・取次会社・書店と公共図書館、そして新聞・放送のマスコミ機関も加わって、第1回『読書週間』が開催され、現在に至るそうです。読書で想像力をつけて平和な世の中を作る試みは、まだまだ続いています。

今年の“秋の読書週間”のテーマは「こころとあたまの、深呼吸。」深呼吸すると、体に酸素が行きわたって血行が良くなり、リラックスできますが、本を読めば、心と頭にも新しい酸素が行きわたって、とても落ち着くことができます。皆様、当館の素敵なデザインの図書館カードをお持ちになって、本を借りにお越しください！

2025・第79回 読書週間

10/27～11/9

こころとあたまの、
深呼吸。



※図書館カードは 鹿島市に在住・通勤・通学の方、鹿島市近隣(白石町・嬉野市・武雄市・太良町・江北町・大町町)にお住まいの方が作成可能です。

鹿島市民図書館長 宮崎 由巳

鹿島市民図書館 一般財団法人 鹿島市民立生涯学習・文化振興財団



〒849-1312 鹿島市大字納富分 2700-1
鹿島市生涯学習センター エイブル

TEL : (0954) 63 - 4343 FAX : (0954) 63 - 2217

<https://www.library.city.kashima.saga.jp>

2025年10月25日発行

新着図書案内



毎週 **金** 曜日は、新着図書の日

貸出カウンター前は新着図書のコーナーです。毎週金曜日には、約100冊の新着図書がみなさんとの出会いを待っています！ぜひ、借りに来てくださいね♪

『きらめく星空刺しゅう』

PARCEL／著 エクスナレッジ

幾億光年の時を超え輝く星々たち。その一瞬のきらめきを刺しゅうに縫いとめてみませんか。糸とビーズとスパンコールで月や星、星座まで様々な星空を表現するための刺しゅう図案集です。見ているだけでもうっとりする本です。



『たくましくて美しい淡水生物図鑑』

関 慎太郎／著 創元社



日本の淡水は澄んでいて観察にはもってこい。淡水生物を観察し続けて50年の自然写真家が魅了された33種を紹介。干潟のモンスターワラスボなど、水辺の生きものたちのユニークな姿を収めた写真図鑑です。

『大日本いじめ帝国』

荻上 チキ、栗原 俊雄／著 中央公論新社

都合よく正当化された理由のもと、理不尽ないじめが行われていた戦時下。本書にはその痛ましい体験が記されており、戦争が人の心をどのような状態にするのか、確かにあった悲惨な過去から今の平和を考えてほしい本です。



『「選べない」はなぜ起こる？』

小島 雄一郎／著 サンマーク出版



モノや情報が溢れ、選択肢も多数あることが社会の豊かさの象徴だったのは昔のこと。日常に選択肢があふれ、常に判断しなければならない現在、「選ぶこと」に疲れていませんか？現代人の陥りがちな思考について解説します。

『孤独の時間。』

群像編集部／編 講談社

SNS でいつでもどこでも誰かとつながることができるのに、なぜか寂しい。なんだか孤独。孤独は怖い？自由？今の時代の“孤独”について作家や音楽家、芸人などの著名人たちが綴ったエッセイ集です。



特別整理期間へのご理解・ご協力ありがとうございました！

9/29～10/3 まで、年に1度の図書館資料約19万点の総点検と、館内設備の整備を行いました。

休館中の作業の様子や、館内の変更したところなどをご紹介します。



所在不明の本があれば、複数の職員で確認して読み込み忘れがないか棚を探索します。

1冊ずつ本のバーコードを機械で読み込みます。書庫の狭いスペースでは職員同士協力しながら作業しました。



開館に向けて、カレンダーなど館内掲示物を新しくしたり、隅々まで掃除をしたりしました。



医学系の病中後・術後の食事関係の本は1つの棚に集めました。目印は緑色の丸シールです。

◆ 棚が大きくなりました！ ◆



小学生に人気の「〇〇のひみつ」シリーズ



児童向け「SDGsコーナー」



児童CD・DVDコーナー

図書館見学に来てくれました！（9月）

多機能型支援センター そらさんが図書館見学に来てくれました。普段は見ることのできない書庫や読書支援機器などを紹介しました。館内案内の後、本を借りていけました。



防犯訓練を行いました！

9/25(木)の館内整理日に、防犯訓練を行いました。鹿島警察署から講師を招き、不審者の対応を実践形式で学びました。



利用者をどう逃がし、さす股やブックトラックを使い不審者をどう抑えるかなどをご指導いただきました。

訓練とわかっていても迫真の演技の不審者に、職員全員が緊張して対応にあたり、多くの学びを得ることができました。